

アンケート調査 報告書

1. 調査の目的、回収状況等

1-1. 調査の目的

基本構想策定の対象となる京阪萱島駅から1km圏に居住する身体障害者、高齢者、乳児の保護者等が公共交通機関等を利用した移動に際する駅、道路、交通機関の移動(利用)困難箇所や改善要望などを把握し、京阪萱島駅周辺地区におけるバリアフリー推進のための基本的な課題について整理を行う。

1-2. 調査対象区域及び対象者

京阪萱島駅よりおおむね1kmの萱島信和町、東神田町、上神田1丁目及び2丁目、中神田町、御幸東町、御幸西町、下神田町、萱島桜園町、萱島本町、萱島東1丁目～3丁目、萱島南町、南水苑町、下木田町にお住まいの平成16年9月1日現在で65歳以上の方、平成16年9月1日現在において身体障害者手帳をお持ちの20歳以上の方、平成16年9月1日現在6ヶ月～1歳半の子ども(乳児)のいる世帯

1-3. 調査票配布及び回収方法

調査票配布及び回収方法...郵送配布及び郵送回収

配布及び回収、集計・分析期間

- ・配布日...平成16年9月8日(水)
- ・回収期限...平成16年9月20日(月)

1-4. アンケート配布・回収数等

約4,300名の方に配布し、約2,000名の方にお答えいただきました。回収率は5割弱です。

配布・回収数

	配布数	回収数	回収率
高齢者	3,327	1,501	45.1%
身体障害者手帳所持者(20歳以上)	730	322	44.1%
乳児のいる世帯	220	96	43.6%
不明		83	
合計	4,277	2,002	46.8%

2. 回答者の属性

全回答者2,002名のうち、20歳以上の障害者手帳所持者が322名、乳児のいる世帯が96名、65歳以上の高齢者(障害者手帳所持者を除く)が1,501名で、不明の方が83名となっています。

全回答者のうち5割強が、女性の方で、男性は5割弱となっています。

性別・居住地別・属性別回答者数

性別		障害者手帳所持者		乳児のいる世帯		高齢者		不明		合計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
性別	男	172	53.4%	9	9.4%	669	44.6%	1	1.2%	851	42.5%
	女	148	46.0%	87	90.6%	820	54.6%	1	1.2%	1,056	52.7%
	不明・無回答	2	0.6%	0	0.0%	12	0.8%	81	97.6%	95	4.7%
	回答者計	322	100.0%	96	100.0%	1,501	100.0%	83	100.0%	2,002	100.0%

種別・級種別障害者手帳所持者数

性別	手帳の級種	障害者手帳所持者														計			
		視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	上肢障害	下肢障害	体幹障害	内部障害	不明	計									
性別	男	19	52.8%	21	56.8%	7	50.0%	31	58.5%	31	39.2%	9	50.0%	47	65.3%	7	53.8%	172	53.4%
	女	17	47.2%	16	43.2%	6	42.9%	22	41.5%	48	60.8%	9	50.0%	24	33.3%	6	46.2%	148	46.0%
	不明・無回答	0	0.0%	0	0.0%	1	7.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	0	0.0%	2	0.6%
	回答者計	36	100.0%	37	100.0%	14	100.0%	53	100.0%	79	100.0%	18	100.0%	72	100.0%	13	100.0%	322	100.0%
手帳の級種	1級	16	44.4%	7	18.9%	4	28.6%	18	34.0%	4	5.1%	3	16.7%	35	48.6%	1	7.7%	88	27.3%
	2級	13	36.1%	9	24.3%	7	50.0%	16	30.2%	16	20.3%	6	33.3%	1	1.4%	1	7.7%	69	21.4%
	3級	1	2.8%	2	5.4%	2	14.3%	10	18.9%	15	19.0%	2	11.1%	9	12.5%	1	7.7%	42	13.0%
	4級	1	2.8%	7	18.9%	0	0.0%	3	5.7%	37	46.8%	3	16.7%	24	33.3%	0	0.0%	75	23.3%
	5級	0	0.0%	3	8.1%	0	0.0%	4	7.5%	6	7.6%	4	22.2%	1	1.4%	0	0.0%	18	5.6%
	6級	3	8.3%	8	21.6%	0	0.0%	2	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	1	7.7%	15	4.7%
	不明・無回答	2	5.6%	1	2.7%	1	7.1%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	1	1.4%	9	69.2%	15	4.7%
回答者計	36	100.0%	37	100.0%	14	100.0%	53	100.0%	79	100.0%	18	100.0%	72	100.0%	13	100.0%	322	100.0%	

3. 回答者の属性別車イスや介助の必要状況

車イスを必要とされる方は、高齢者では 2.1%、身体障害者手帳所持者では、16.8%となっています。

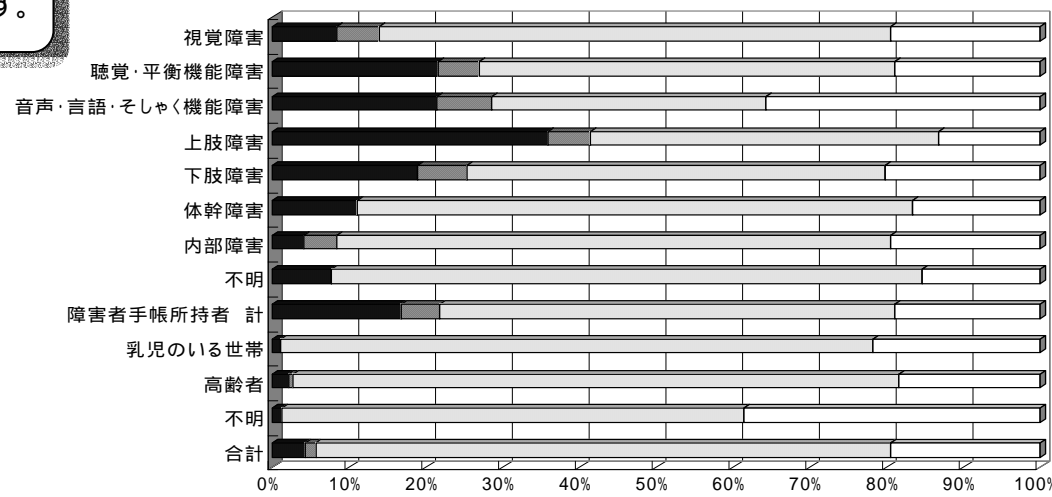
外出に際して一部介助が必要な方も含めて介助を必要とされる方は、高齢者では 7.7%、身体障害者手帳所持者では、64.3%となっています。

一方、一人で外出できる方は、高齢者では 7割強（71.7%）、身体障害者手帳所持者では約 5割（50.3%）となっています。

属性別の車イスや介助の必要状況について

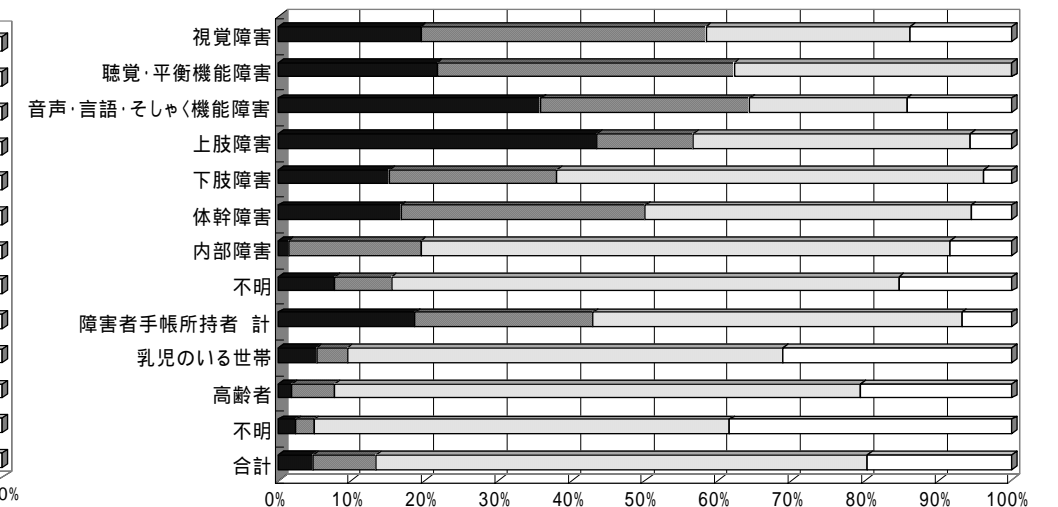
		障害者手帳所持者										乳児のいる世帯	高齢者	不明	合計												
		視覚障害	聴覚・平衡機能障害	音声・言語・そしゃく機能障害	上肢障害	下肢障害	体幹障害	内部障害	不明	計																	
車イスの必要性	常に必要	3	8.3%	8	21.6%	3	21.4%	19	35.8%	15	19.0%	2	11.1%	3	4.2%	1	7.7%	54	16.8%	1	1.0%	31	2.1%	1	1.2%	87	4.3%
	たまに使用しない時がある	2	5.6%	2	5.4%	1	7.1%	3	5.7%	5	6.3%	0	0.0%	3	4.2%	0	0.0%	16	5.0%	0	0.0%	10	0.7%	0	0.0%	26	1.3%
	不要	24	66.7%	20	54.1%	5	35.7%	24	45.3%	43	54.4%	13	72.2%	52	72.2%	10	76.9%	191	59.3%	74	77.1%	1,185	78.9%	50	60.2%	1,500	74.9%
	不明・無回答	7	19.4%	7	18.9%	5	35.7%	7	13.2%	16	20.3%	3	16.7%	14	19.4%	2	15.4%	61	18.9%	21	21.9%	275	18.3%	32	38.6%	389	19.4%
	回答者計	36	100.0%	37	100.0%	14	100.0%	53	100.0%	79	100.0%	18	100.0%	72	100.0%	13	100.0%	322	100.0%	96	100.0%	1,501	100.0%	83	100.0%	2,002	100.0%
介助の必要性	一人でできる	10	27.8%	14	37.8%	3	21.4%	20	37.7%	46	58.2%	8	44.4%	52	72.2%	9	69.2%	162	50.3%	57	59.4%	1,076	71.7%	47	56.6%	1,342	67.0%
	一部、介助が必要	14	38.9%	15	40.5%	4	28.6%	7	13.2%	18	22.8%	6	33.3%	13	18.1%	1	7.7%	78	24.2%	4	4.2%	87	5.8%	2	2.4%	171	8.5%
	全面的に介助が必要	7	19.4%	8	21.6%	5	35.7%	23	43.4%	12	15.2%	3	16.7%	1	1.4%	1	7.7%	60	18.6%	5	5.2%	28	1.9%	2	2.4%	95	4.7%
	不明・無回答	5	13.9%	0	0.0%	2	14.3%	3	5.7%	3	3.8%	1	5.6%	6	8.3%	2	15.4%	22	6.8%	30	31.3%	310	20.7%	32	38.6%	394	19.7%
	回答者計	36	100.0%	37	100.0%	14	100.0%	53	100.0%	79	100.0%	18	100.0%	72	100.0%	13	100.0%	322	100.0%	96	100.0%	1,501	100.0%	83	100.0%	2,002	100.0%

車イスの必要状況



■ 常に必要 ■ たまに使用しない時がある □ 不要 □ 不明・無回答

介助の必要状況



■ 全面的に介助が必要 ■ 一部、介助が必要 □ 一人でできる □ 不明・無回答

4. 外出の状況や要望について

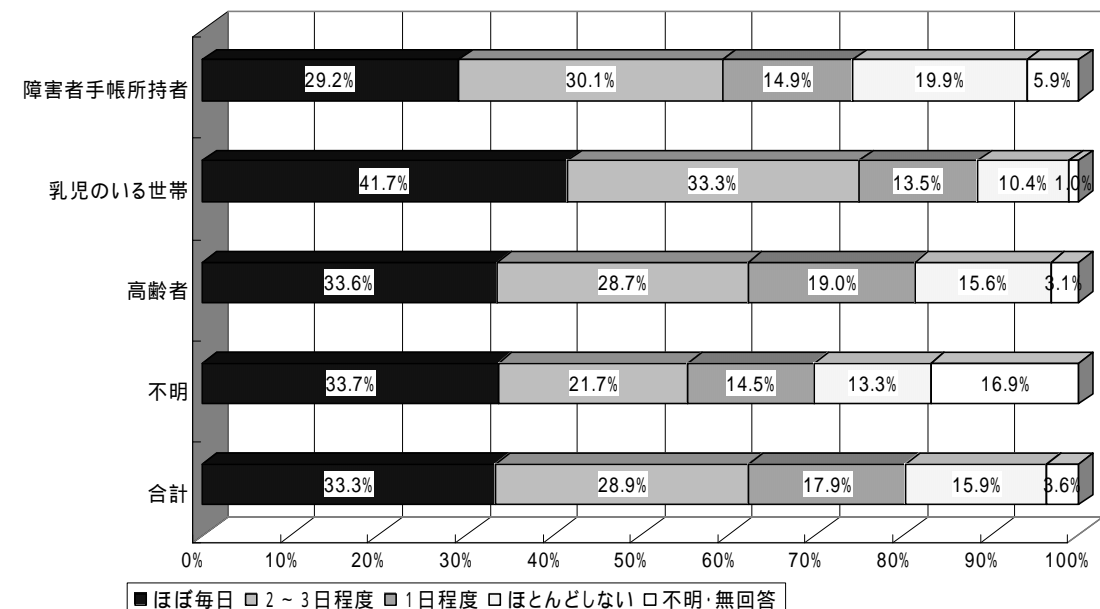
4-1. 外出の頻度

乳児のいる世帯は、毎日外出する人の割合が最も高く、4割強（41.7%）となっています。また、乳児のいる世帯では、週2～3日外出する方も含める75.0%と大半がとかなりの頻度で外出しています。

高齢者では、毎日外出する人の割合が3割強（33.6%）、週2～3日外出する方も含めると6割強（62.3%）となっています。一方、ほとんど外出しない人が15.6%、週に1日程度という人が19.0%と、あまり外出しない人が3割強を占めています。

障害者手帳所持者では、毎日外出する人の割合が3割弱（29.2%）、週2～3日外出する方も含めると6割弱（59.3%）となっており、乳児のいる世帯や高齢者より少し低い割合となっています。一方、ほとんど外出しない人が19.9%と乳児のいる世帯や高齢者と比較すると最も高い割合になっており、週に1日程度という人の14.9%も含めてあまり外出しない人の割合は3割強となっています。

外出頻度



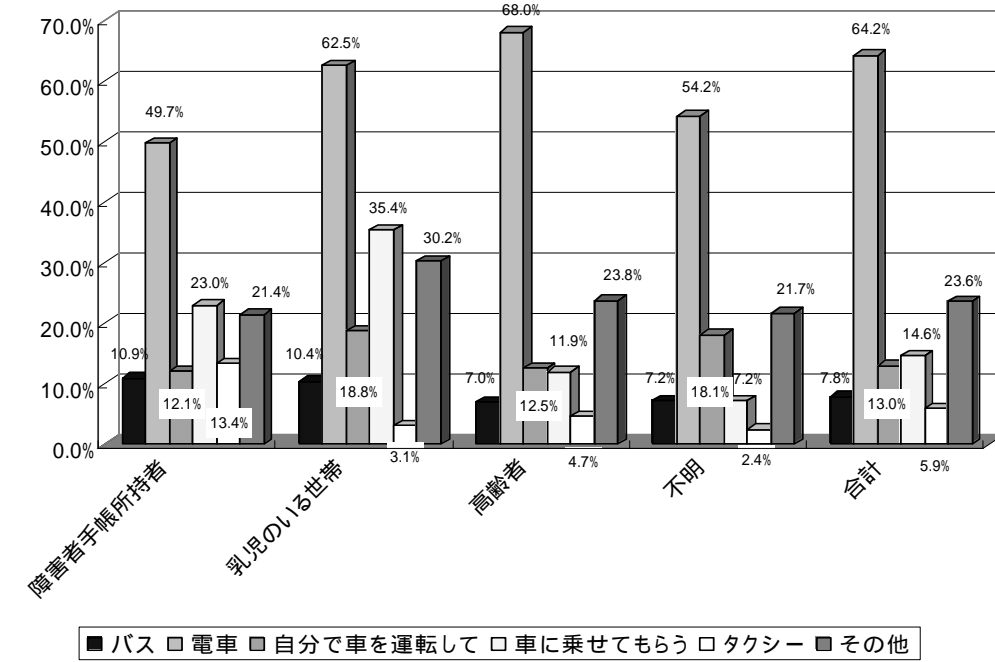
4 - 2 . 外出するときの交通手段と利用駅、京阪萱島駅までの交通手段

全体で利用の割合が高い交通機関は電車で、高齢者の利用の割合が最も高く7割弱（68.0%）となっています。次いで、電車の利用の割合が高いのは、乳児のいる世帯で6割強（62.5%）、身体障害者手帳所持者で約5割（49.7%）となっています。

次いで、全体で利用の割合が高い交通機関は「車に乗せてもらう」で、乳児のいる世帯が最も高く、35.4%となっています。身体障害者手帳所持者では2割強（23.0%）となっています。

バスは、身体障害者手帳所持者が最も高く約1割（10.9%）となっており、乳児のいる世帯も約1割（10.4%）で、高齢者では7.0%となっています。

外出に際する交通手段（複数回答可 2つまで）

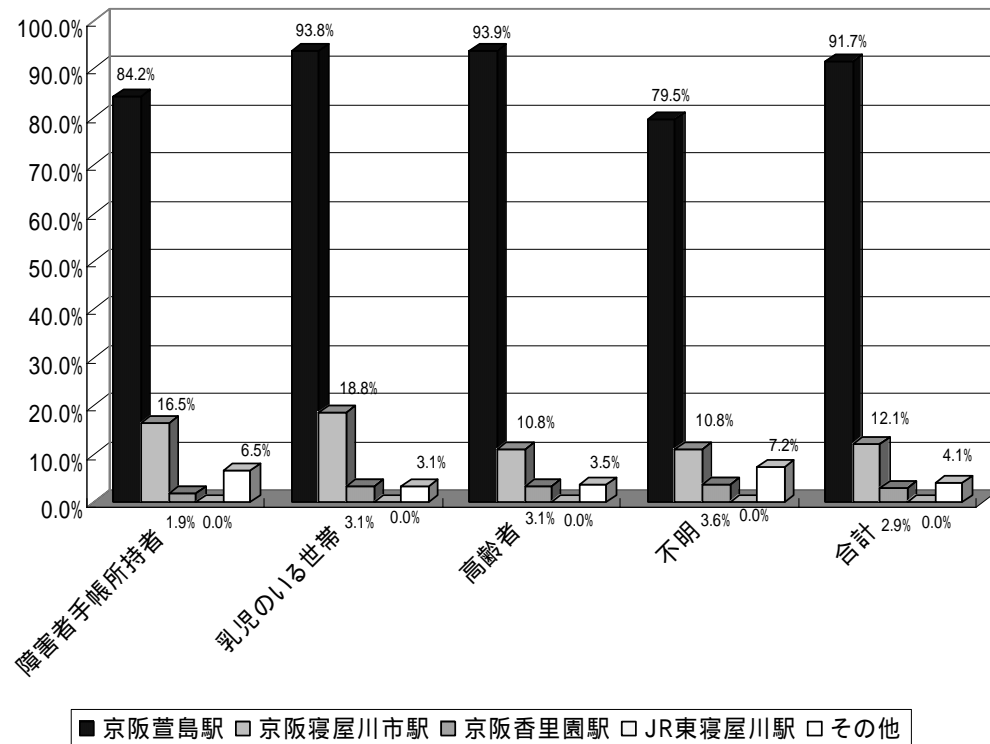


4 - 3 . 電車で外出する場合の利用駅

電車で外出する場合の利用駅としては、回答者の9割強（91.7%）が京阪萱島駅を利用しています。

身体障害者手帳所持者や乳児のいる世帯、高齢者の電車で外出する場合の利用駅としては、京阪萱島駅が大半ですが、身体障害者手帳所持者や乳児のいる世帯の2割弱は京阪寝屋川市駅も利用しています。

電車を利用する場合の利用駅（複数回答可 2つまで）

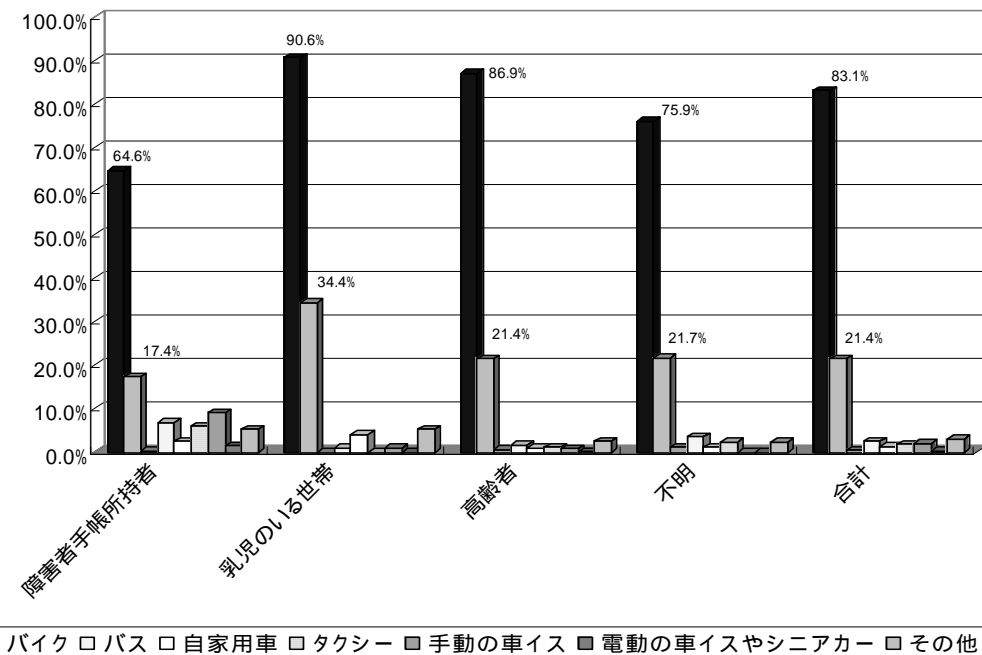


4 - 4 . 京阪萱島駅までの交通手段

京阪萱島駅までの交通手段としては、全体の8割以上が徒歩で行っています。乳児のいる世帯では徒歩が約9割で、自転車も3割以上を占めています。

身体障害者手帳所持者では、徒歩が8割強、自転車が2割弱と、乳児のいる世帯や高齢者に比較し、徒歩や自転車の割合が少し低くなっており、車イスなど他の交通手段の割合が少し高くなっています。

京阪萱島駅までの交通手段（複数回答可 2つまで）



4 - 5 . 公共交通機関を利用した外出の要望

全体として、半数以上（50.9%）が、今以上に外出を望んでいます。特に、乳児のいる世帯では75.0%が、次いで、身体障害者手帳所持者の5割強（53.1%）が望んでいます。

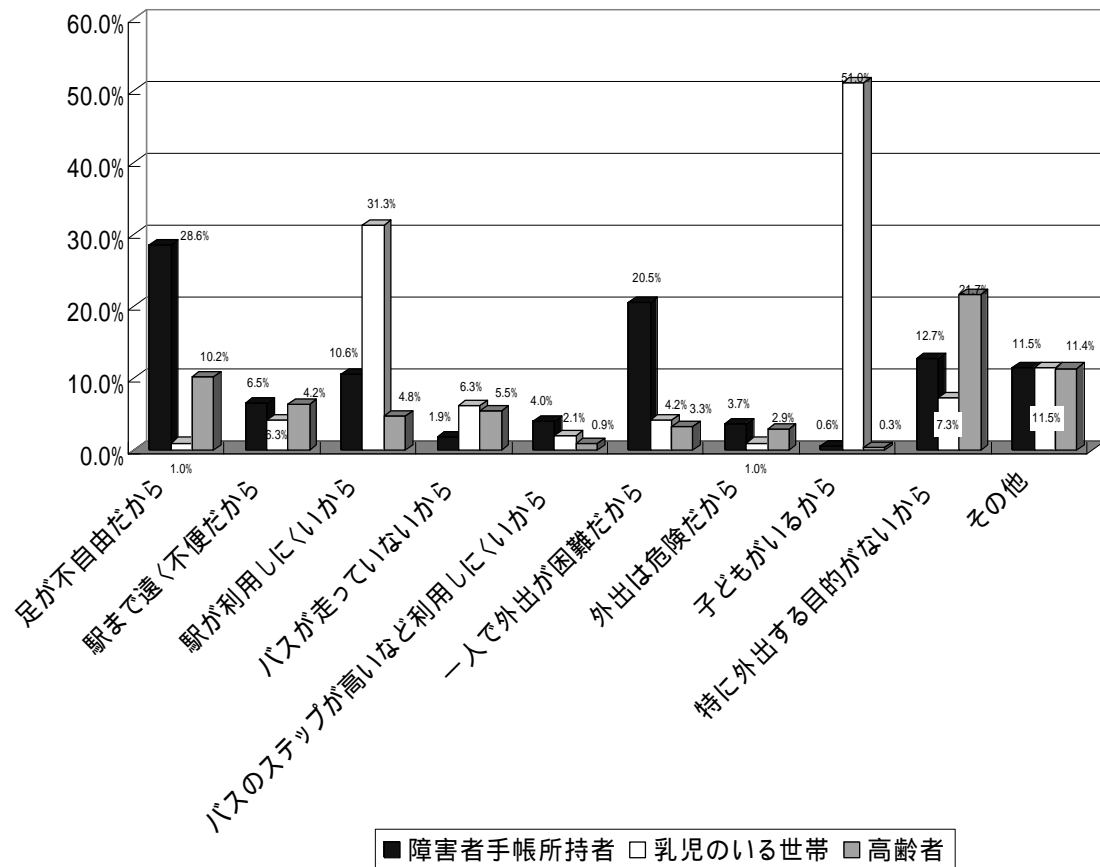
今以上に外出を望んでいる人の現在、外出しない理由

身体障害者手帳所持者では、「足が不自由だから」（28.6%）や「一人で外出が困難だから」（20.5%）が主な理由となっている。

高齢者では、「特に外出する目的がないから」（21.7%）や「足が不自由だから」（10.2%）が主な理由となっている。

乳児のいる世帯では、「子どもがいるから」（51.0%）がかなりの割合を占め、次いで「駅が利用しにくいから」（31.3%）となっている。

外出が思うようにできない理由（複数回答可 2つまで）



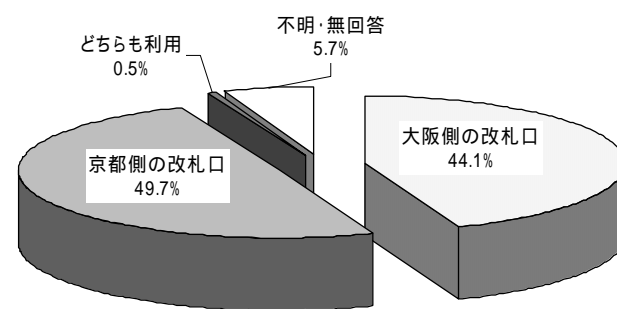
5 . 京阪萱島駅について

5 - 1 . 利用する改札について

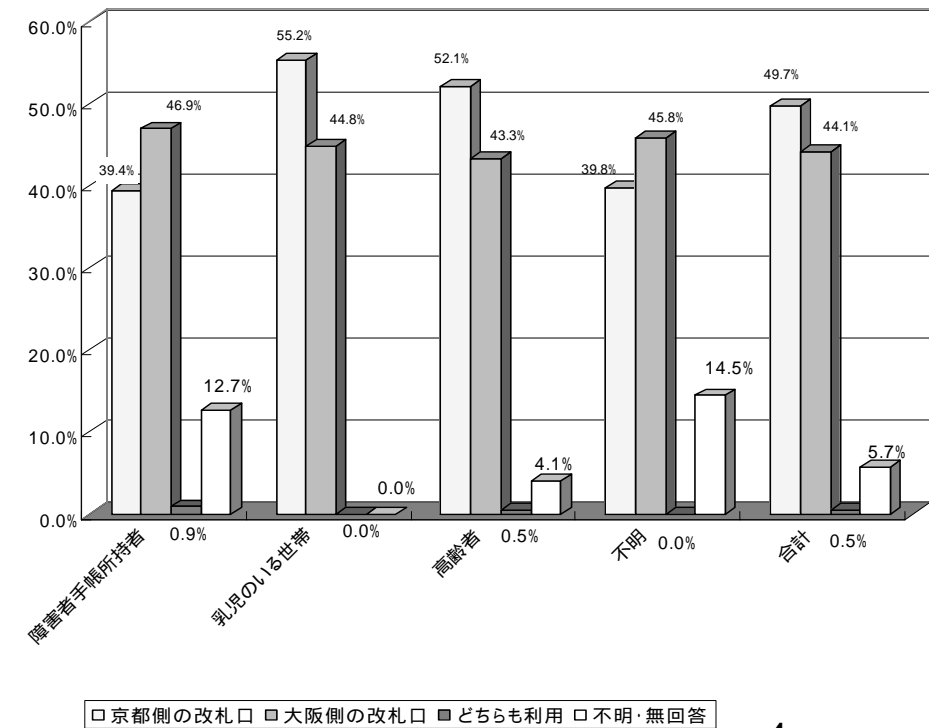
回答者の約5割が京阪萱島駅の京都側（東口）改札を利用しています。大阪側（西口）改札は4割強が、いずれの改札も利用する人が0.5%となっています。

身体障害者手帳所持者、乳児のいる世帯、高齢者別にいずれの改札が利用されているかをみると、乳児のいる世帯と高齢者は、京都側（東口）改札の利用の方が、いずれも1割近く高くなっています。一方、身体障害者手帳所持者は、大阪側（西口）改札利用の割合が約7%高くなっています。

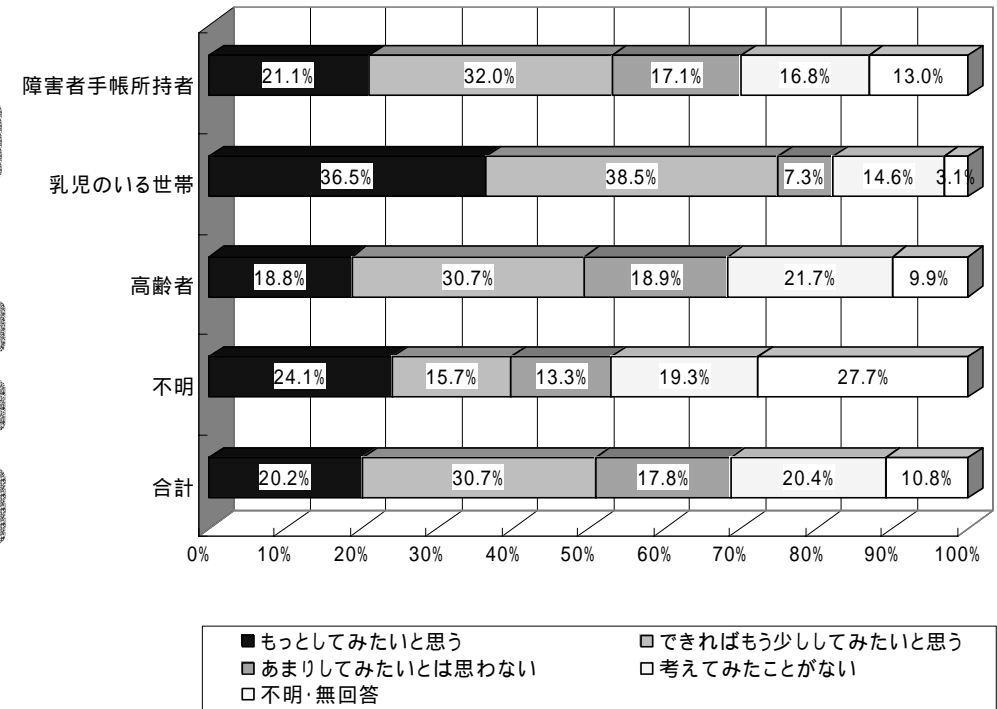
京阪萱島駅の利用改札口



身体障害者手帳所持者、乳児のいる世帯、高齢者別の京阪萱島駅の利用改札口



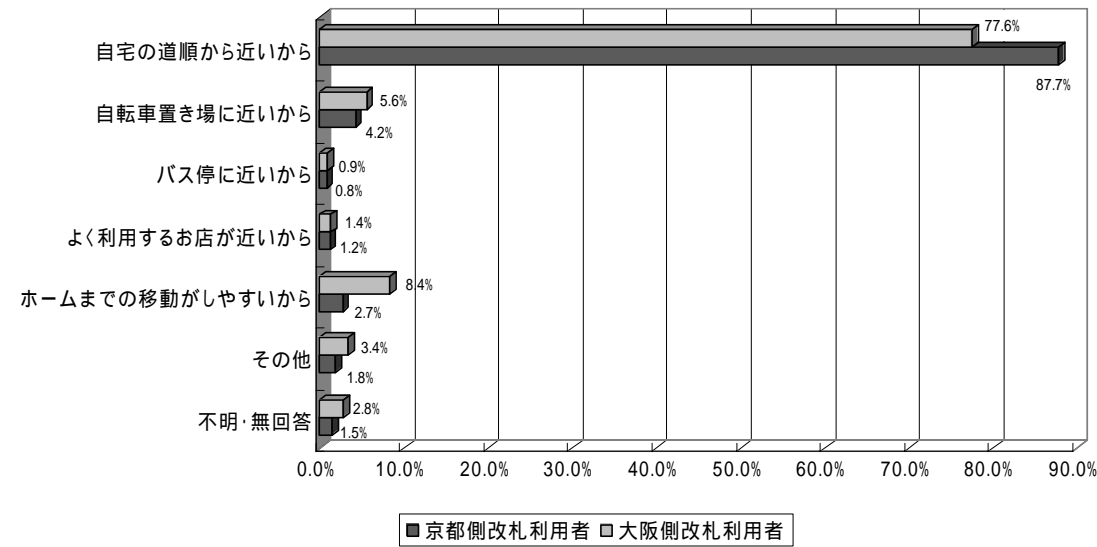
公共交通機関を利用した外出の要望



5 - 2 . 利用する改札の利用理由

いずれの改札の利用も「自宅の道順から近いから」が大半を占めていますが、京都側（東口）改札の方が約1割高くなっており、9割弱となっています。他の利用理由としては、「ホームまでの移動がしやすいから」が、改札からプラットフォームまでエスカレータが利用できる大阪側（西口）改札の方が、京都側（東口）改札に比較し約6%高くなっています。

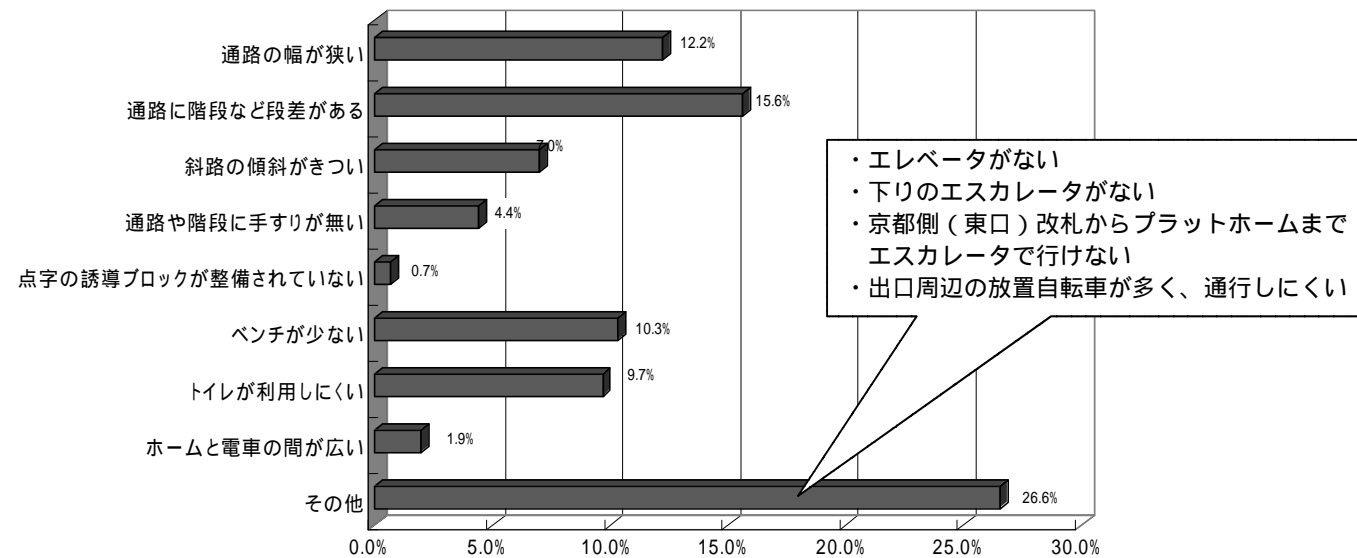
京阪萱島駅での利用改札口の利用理由



5 - 4 . 京阪萱島駅の利用のしにくい点

駅構内の通行や施設の利用面では、「通路に階段などの段差がある」(15.6%)や「通路の幅が狭い」(12.2%)が高くなっています。また、その他の回答として、「エレベータがない」「下りのエスカレータがない」「京都側（東口）改札からプラットフォームまでエスカレータで行けない」「出口周辺の放置自転車がが多く、通行しにくい」等があげられています。

京阪萱島駅の施設面での利用しにくい点（複数回答可 3つまで）



5 - 3 . 京阪萱島駅の利用のしやすさ

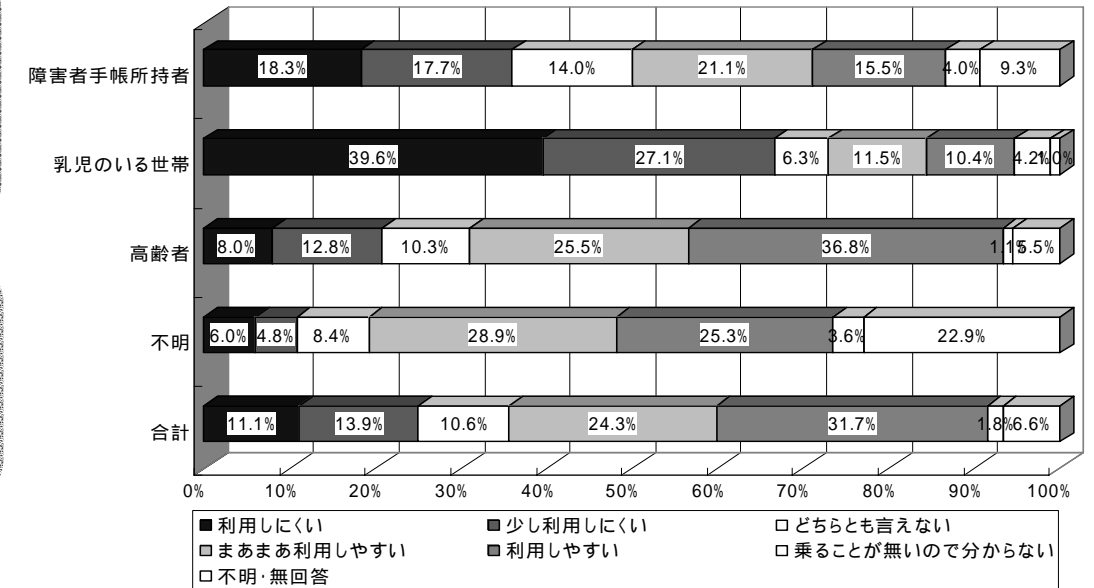
全体として、「利用しやすい」(含「まあまあ利用しやすい」)と回答した人は56.0%を占め、これに対して、「利用しにくい」(含「少し利用しにくい」)と回答した人は25.0%となっています。

特に、高齢者では、「利用しやすい」(含「まあまあ利用しやすい」)と回答された人は62.3%を占め、「利用しにくい」(含「少し利用しにくい」)と回答された人の20.8%を大きく上回っています。

一方、乳児のいる世帯では、「利用しやすい」(含「まあまあ利用しやすい」)と回答された人の21.9%に対し、「利用しにくい」(含「少し利用しにくい」)と回答された人は66.7%を占め、利用しにくいと回答した人が大きく上回っています。

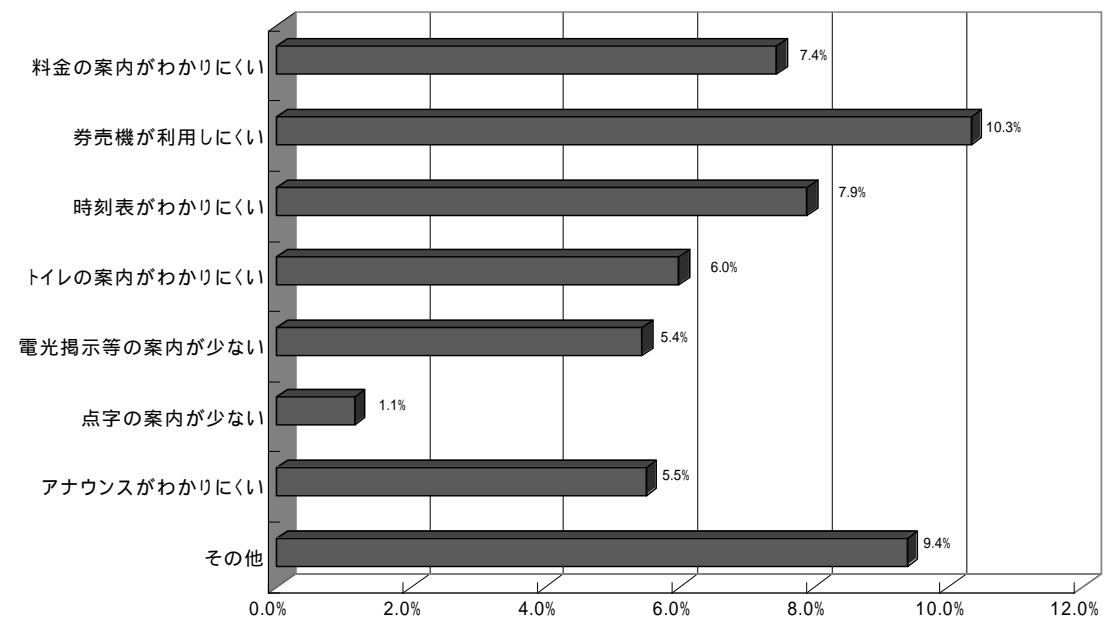
また、身体障害者手帳所持者では、「利用しやすい」(含「まあまあ利用しやすい」)と回答された人の36.6%に対し、「利用しにくい」(含「少し利用しにくい」)と回答された人は36.0%と同程度の割合となっています。

京阪萱島駅の利用のしやすさ



駅の案内などでは、「券売機が利用しにくい」(10.3%)や「時刻表がわかりにくい」(7.9%)、「料金の案内がわかりにくい」などが比較的高くなっています。また、その他の回答として、「駅員の常駐」「時計が見にくい」等があげられています。

京阪萱島駅の案内等での利用しにくい点（複数回答可 3つまで）



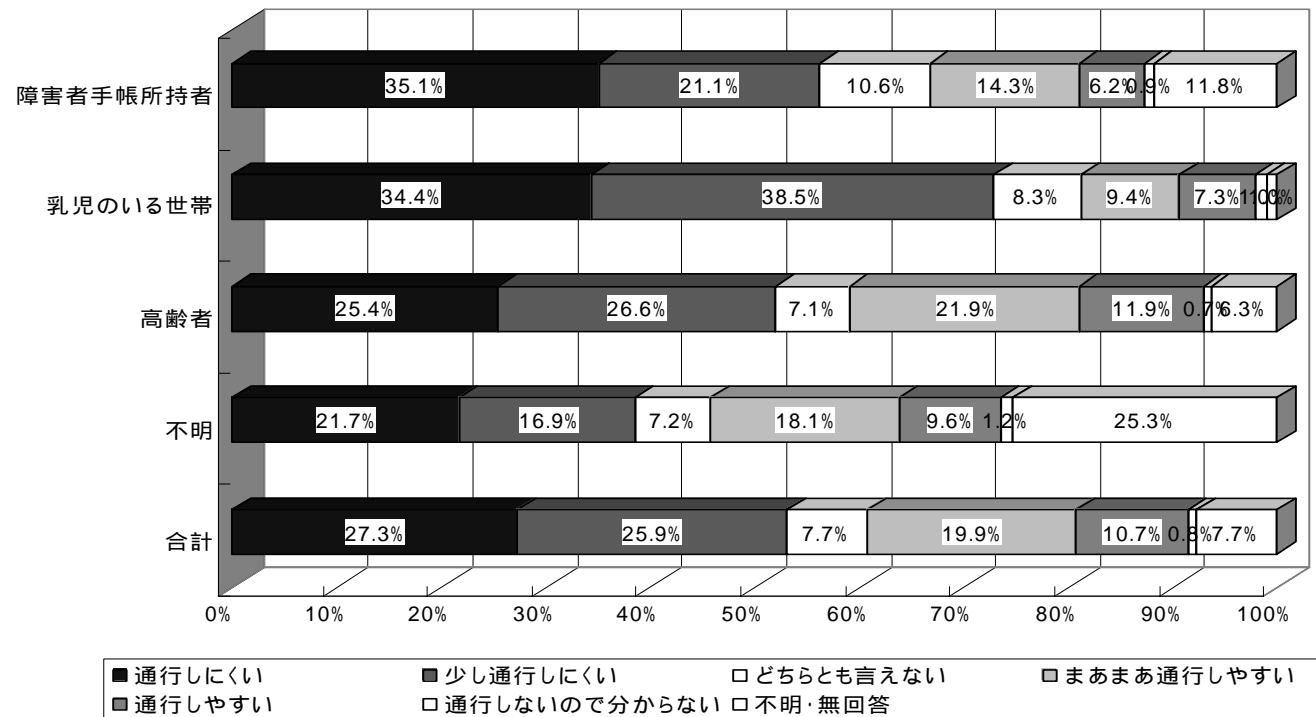
6 . 京阪萱島駅までの道路について

6 - 1 . 道路の通行のしやすさについて

全体として、「通行しやすい」(含「まあまあ通行しやすい」)と回答された人の30.6%に対して、「通行しにくい」(含「少し通行しにくい」)と回答した人が53.2%と、通行しにくいと回答した人の割合がかなり上回っています。

特に、乳児のいる世帯や身体障害者手帳所持者では、「通行しやすい」(含「まあまあ通行しやすい」)と回答された人がそれぞれ、17.7%、20.5%に対し、「通行しにくい」(含「少し通行しにくい」)と回答された人が72.9%、56.2%となっており、通行しにくいと回答した人の割合が大きく上回っています。

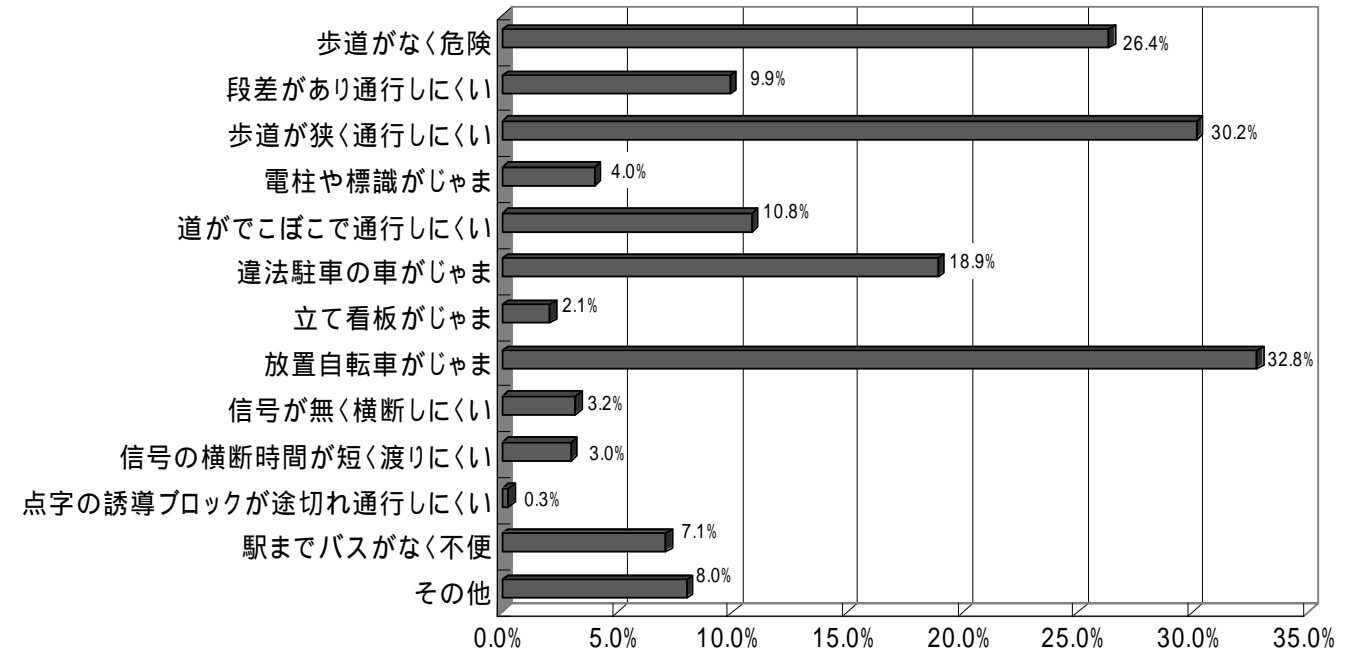
京阪萱島駅周辺道路の通行のしやすさ



6 - 2 . 道路の通行で困っていることについて

京阪萱島駅周辺の道路では、放置自転車がじゃま(32.8%) 歩道が狭く通行しにくい(30.2%) 歩道がなく危険(26.4%) 違法駐車車がじゃまなどが主な困窮点です。

京阪萱島駅周辺の道路で困っていること (複数回答可 3つまで)



6 - 3 . 京阪萱島駅や周辺施設への日常の利用ルートと通行で具体的に困っていることについて

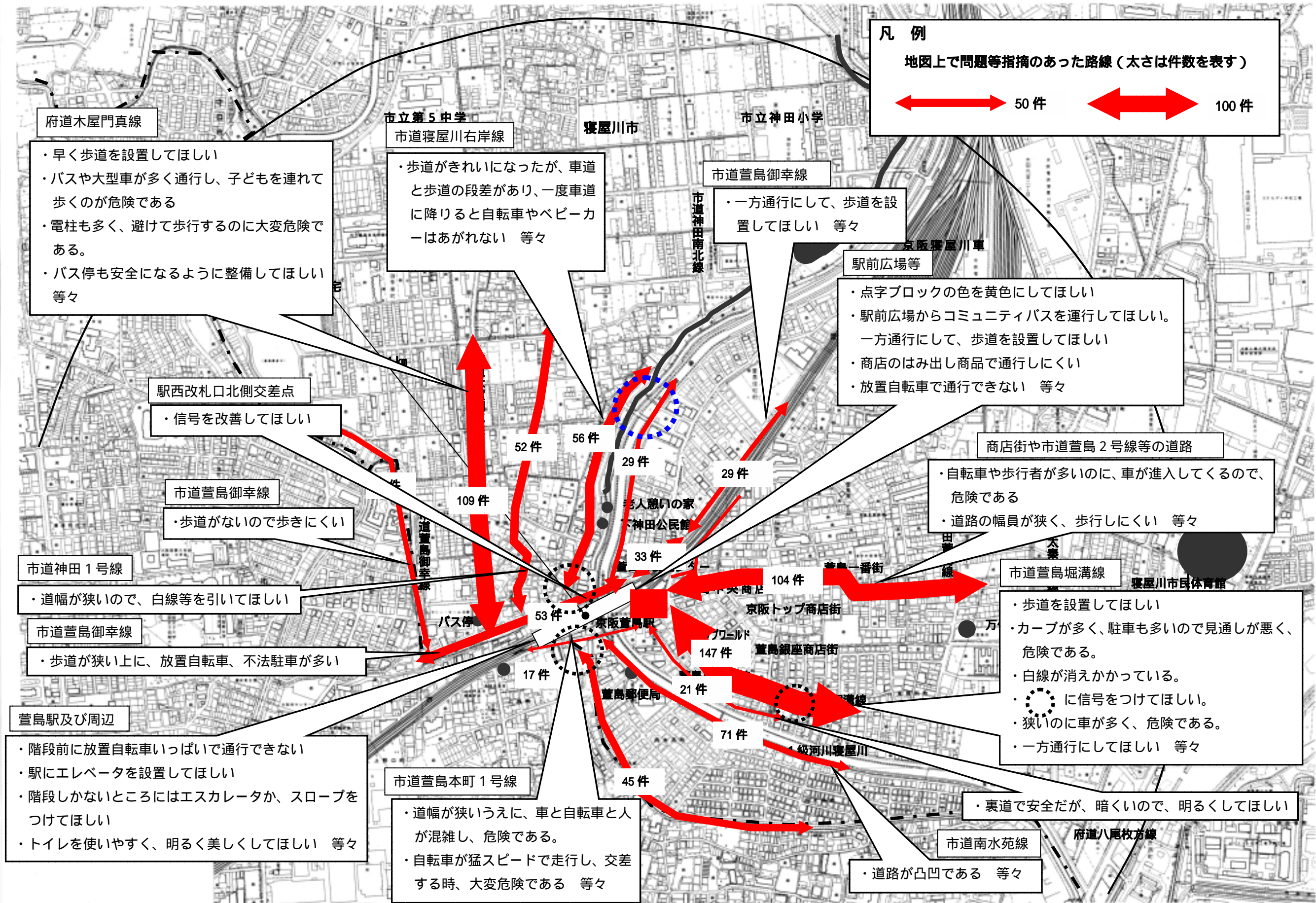
地図上での京阪萱島駅や周辺施設への日常の利用ルートや問題指摘については、回答者全体の約半数である 997 人が地図上もしくは文章で記述され、問題指摘のあったルートを整理すると次頁の図のようになります。

問題指摘の最も多い道路は、市道萱島堀溝線(147件)で、「歩行が危険であり、歩道を設置してほしい」という意見が多くみられました。

次に、問題指摘が多い道路は、府道木屋門真線(109件)で、「大型車など車の交通量が多い上に、電柱などがあり、歩行が危険であり、歩道を設置してほしい」という意見が多くみられました。

次に、問題指摘が多い道路は、私道も一部あるが、中央商店街などの通り(104件)で、「道路の幅員が狭く、自転車や歩行者が多いうえに、車が進入してくるので、危険である」という意見が多くみられました。

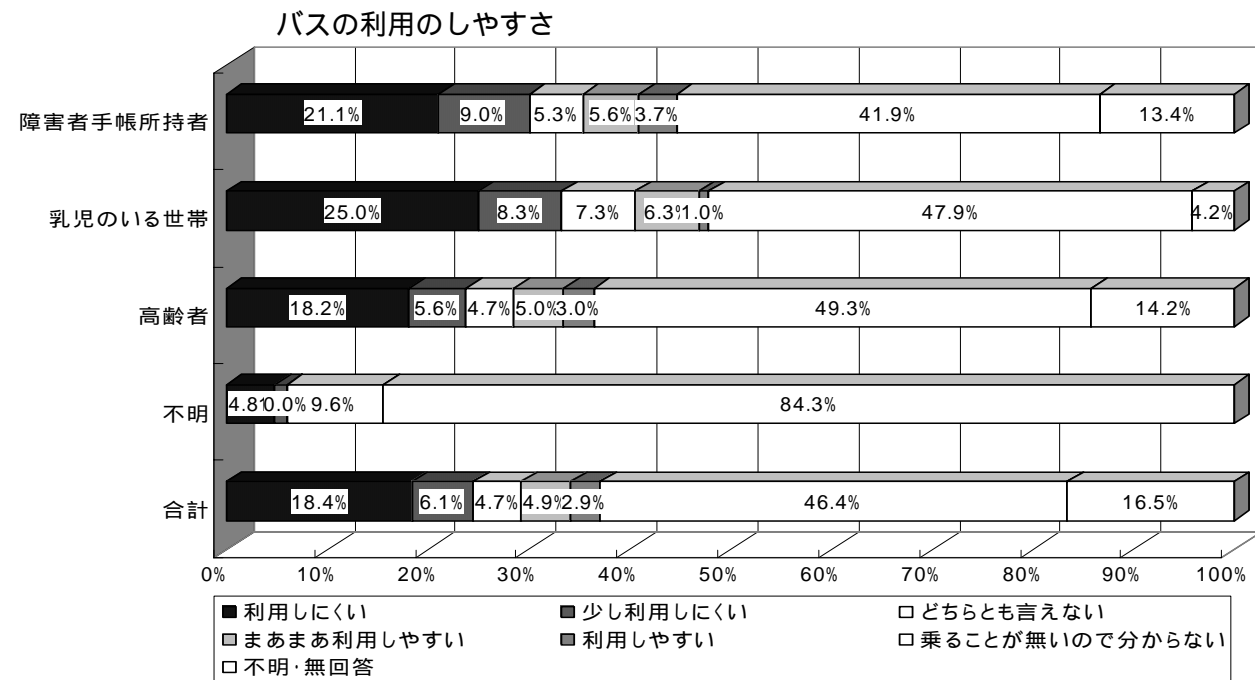
また、京阪萱島駅については、「駅にエレベータを設置してほしい」や「階段前に放置自転車いっぱいでは通行できない」、「階段しかないところにはエスカレータか、スロープをつけてほしい」、「トイレを使いやすく、明るく美しくしてほしい」という意見が多くみられました。



7. バスについて

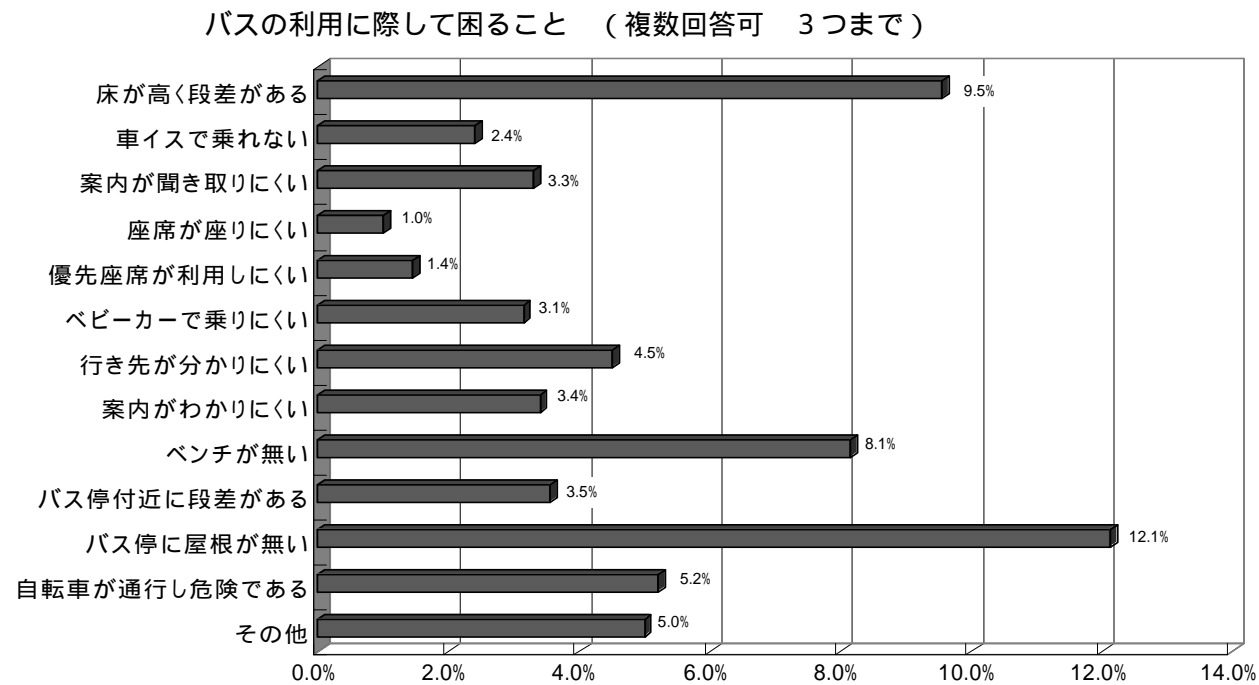
7-1. バスの利用のしやすさについて

全体として、バスの路線が少なく、利用も少ないことから、「乗ることが無いので分からない」が5割弱を占めています。乳児のいる世帯をはじめとして、身体障害者手帳所持者、高齢者ともに、「利用しにくい」(含「少し利用しにくい」)と回答した人の割合が、「利用しやすい」(含「まあまあ利用しやすい」)と回答した人の割合を上回っています。



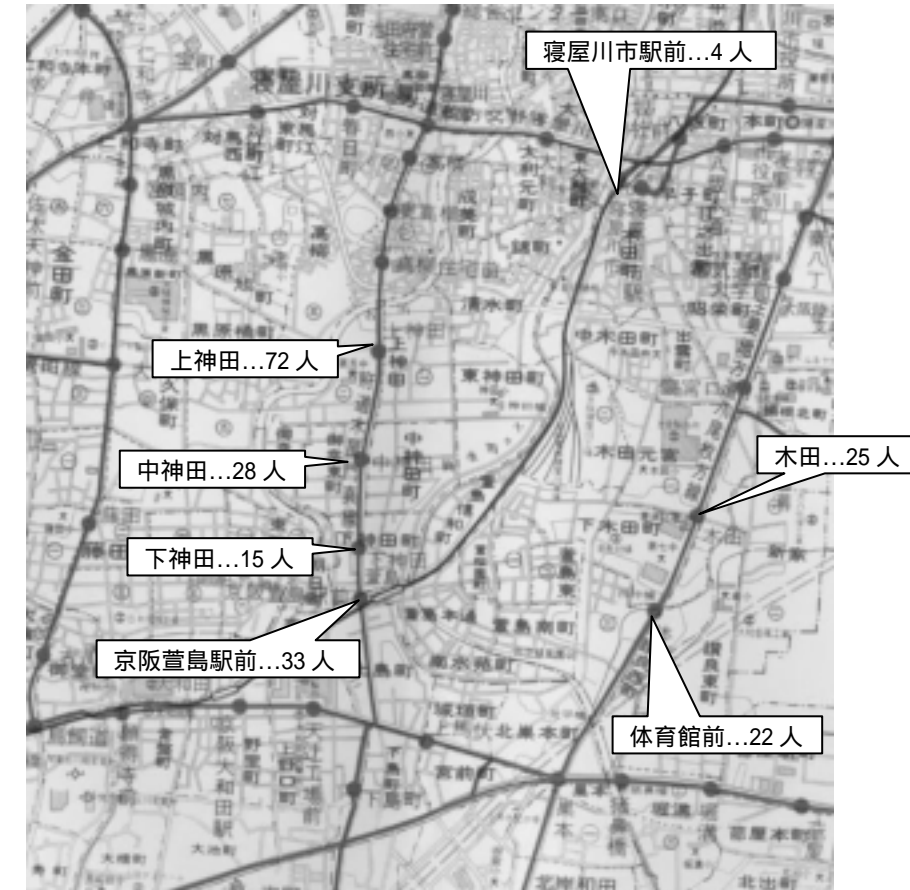
7-3. バスの利用に際して困ることについて

バスの利用に際して、バス停に屋根が無い(12.1%) 床が高く段差がある(9.5%) ベンチがない(8.1%)などが主に困っている点です。



7-2. よく利用するバス停

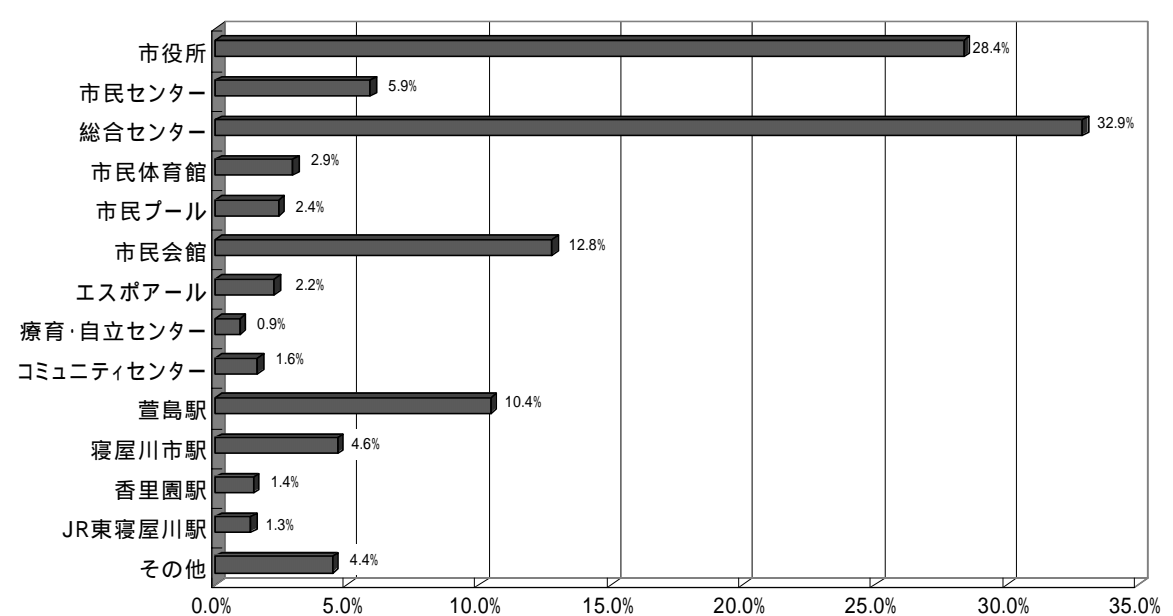
よく利用するバス停の回答者数



7-4. バスで利用が便利になれば良い市内の施設について

バスで利用が便利になれば良い市内の施設は、総合センター(32.9%) 市役所(28.4%) 市民会館(12.8%)となっています。

バスで利用が便利になれば良い市内の施設 (複数回答可 3つまで)

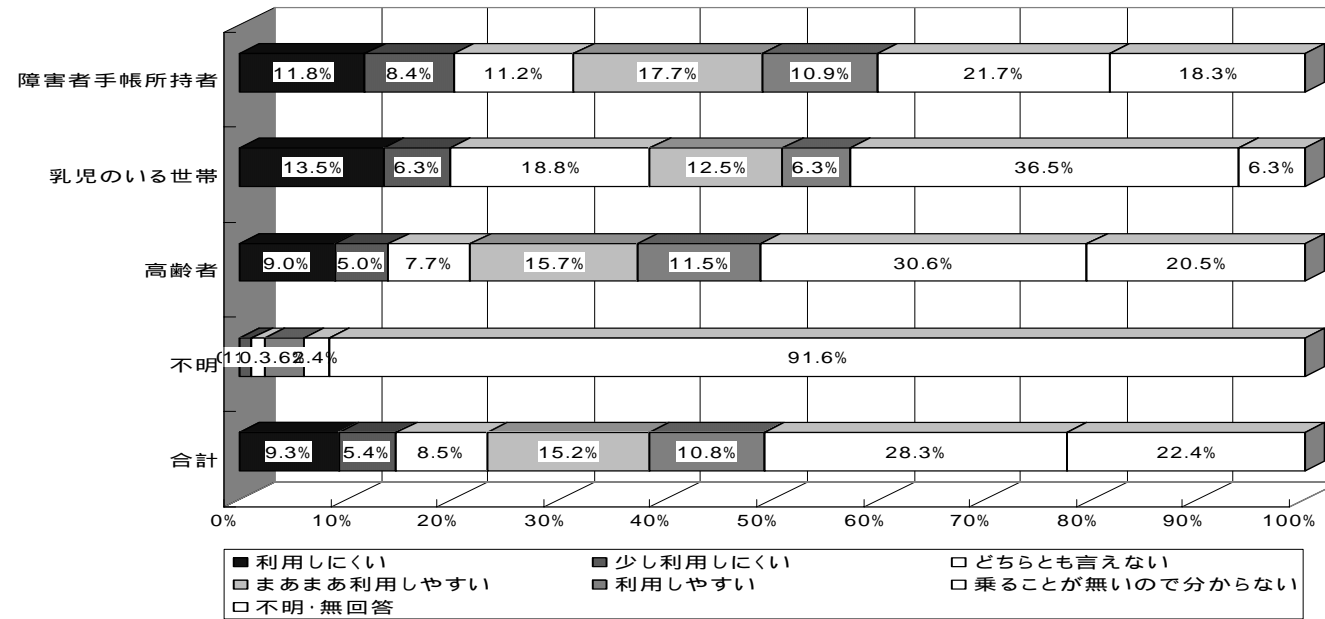


8. タクシーについて

8-1. タクシーの利用のしやすさについて

全体として、タクシーの利用が少ないことから、「乗ることが無いので分からない」「不明・無回答」で約5割を占めています。身体障害者手帳所持者、高齢者では、「利用しやすい」(含「まあまあ利用しやすい」)と回答した人の割合が、「利用しにくい」(含「少し利用しにくい」)と回答された人の割合を上回っていますが、乳児のいる世帯では、「利用しにくい」(含「少し利用しにくい」)と回答した人の割合と「利用しやすい」(含「まあまあ利用しやすい」)と回答した人の割合が同じくらいになっています。

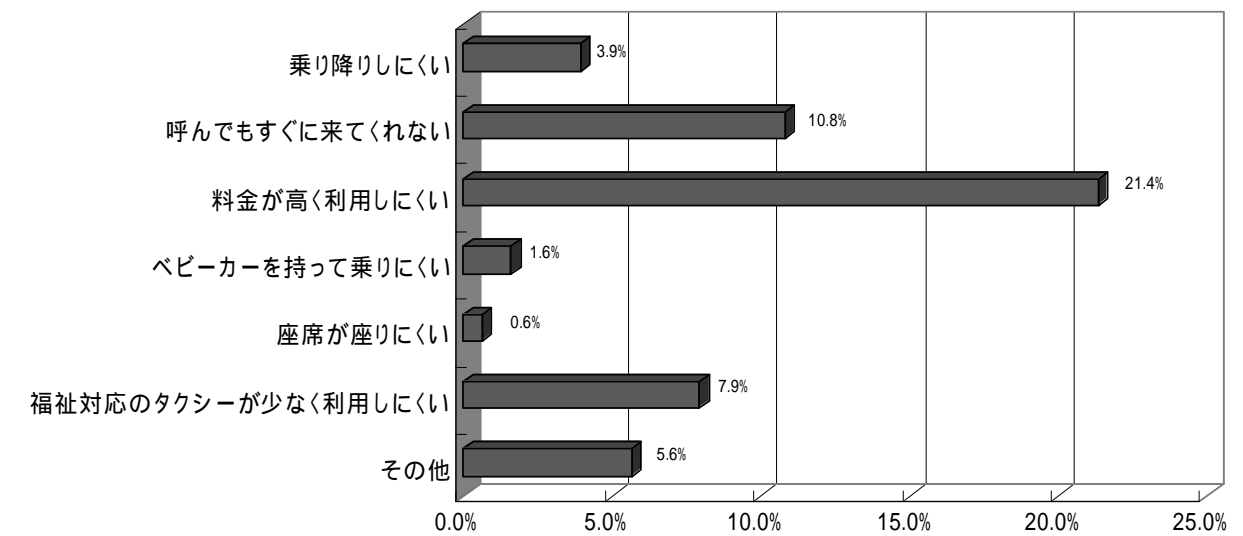
タクシーの利用のしやすさ



8-2. タクシーの利用に際して困ることについて

タクシーの利用に際して、料金が高く利用しにくい(21.4%) 呼んでもすぐに来てくれない(10.8%) 福祉対応のタクシーが少なく利用しにくい(7.9%)などが主に困っている点です。

タクシーの利用に際して困ること (複数回答可 3つまで)

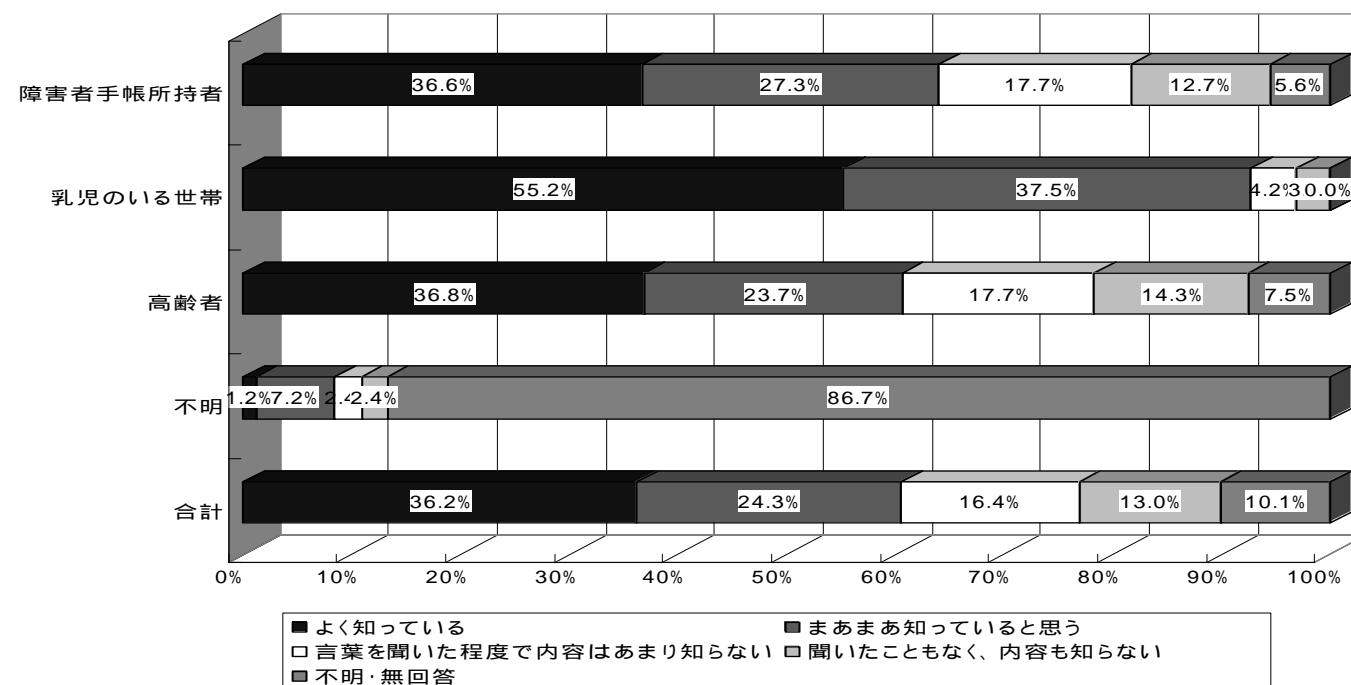


9. バリアフリーについて

9-1. バリアフリーという言葉の認知状況について

バリアフリーを「よく知っている」と回答した人が最も多く、36.2%となっています。次いで、「まあまあ知っている」という人が24.3%となっており、約6割の人が、バリアフリーについてある程度知っています。逆に「言葉を聞いた程度で内容はあまり知らない」や「聞いたこともなく、内容も知らない」という人がそれぞれ16.4%、13.0%となっています。

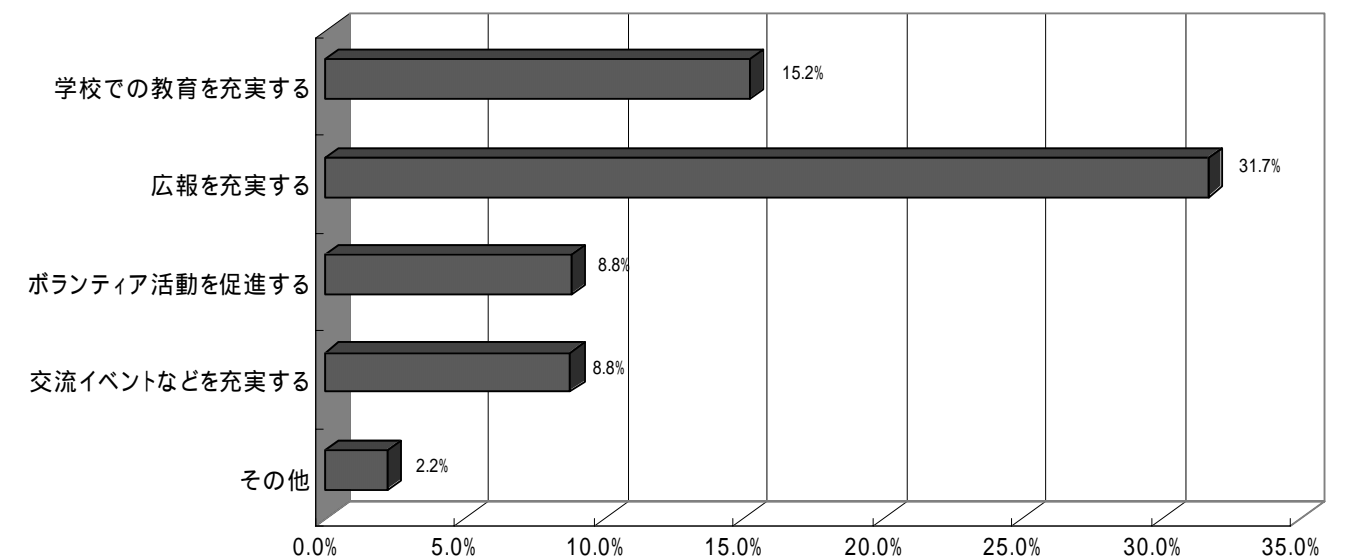
バリアフリーの認知状況



9-2. 市民のバリアフリー意識を向上させるための施策について

市民のバリアフリーなどに対する意識を高める方法として、広報を充実する(31.7%) 学校での教育を充実する(15.2%)が比較的高い割合になっています。

市民のバリアフリーなどに対する意識を高める方法



10 . 自由意見等について

自由意見や具体的記入欄での要望等事項を合わせると、871 人の方（回答者全体の 43.5%）から 971 件の意見をいただいています。

自由意見で多くみられた意見をみると次のようになります。

京阪萱島駅へのエレベータの設置 < 342 件（回答者の 17.1%） >

道路が危険や歩道の設置 < 155 件（7.7%） >

放置自転車対策 < 128 件（6.4%） >

京阪萱島駅のエスカレータのプラットホームまでの延伸 < 89 件（4.4%） >

道路の段差や坂を無くしてほしい < 72 件（3.6%） >

駅前広場からバスに乗れるようにしてほしい < 51 件（2.5%） >

違法駐車を取り締まりを強化してほしい < 39 件（1.9%） >

横断しやすいように信号や交差点の改善してほしい < 23 件（1.1%） >

バスのサービスを充実してほしい < 22 件（1.1%） >

歩行者にとって自転車が危険であり対策を強化してほしい < 17 件（0.8%） >

店舗のはみ出し営業の対策をしてほしい < 9 件（0.4%） >

駅や周辺の通りを明るくしてほしい < 9 件（0.4%） >

駅のトイレの改善をしてほしい < 7 件（0.3%） >

駅の大坂（西）側の玄関にスロープを整備してほしい < 2 件（0.1%） >

駅前広場のトイレを改善してほしい < 2 件（0.1%） >

バス停を改善してほしい < 2 件（0.1%） >

バリアフリーの整備を早くしてほしい < 2 件（0.1%） >